

しみずの教育

ちょっといい話

【平成28年5月号】

清水小学校

校長 山下 勇

子どもたちの笑顔があふれる美味しい給食の時間

1年生が、学校生活で楽しみにしていたことのひとつが「学校給食」でした。4月19日(火)から給食が始まりました。初めての給食メニューは、「クロワッサン、鶏肉の唐揚げ、ジャーマンポテト、野菜スープ、牛乳」でした。モリモリと食べる子どもたち、「美味しい、美味しい」という言葉が響く給食時間でした。美味しいと言いながら食べる子どもたちの満面の笑顔、とてもいい顔でした。毎食、子どもたちのために工夫し、美味しく調理された給食メニューを楽しみ、感謝しながら食べている子どもたちです。毎食、ほとんど残さず食べています。



清水町学校給食センターから、新鮮な食材や地域の食材を使い、安全かつ美味しく調理して提供されている給食には、子どもたちへの温かな思いと愛情のスパイスが加わり、「世界一美味しい給食」になっています。この給食を食べている子どもたちはとても幸せです。

「世界一美味しい給食」
を食べる子どもたちは笑
顔、笑顔、笑顔です。

これからも、好き嫌いせずにしっかりと食べて、真剣に学び、元気に遊び、すくすくと成長してほしいと思います。

6年生と1年生の交流を深める

伝統の朝のウッチャンタイム

毎日、朝の時間・ウッチャンタイムに、6年生が1年生の教室を訪問し、1年生が早く学校に慣れ、楽しく学校生活を送れるよう、本の読み聞かせをしたり、ゲームやクイズをしたりして1年生と交流をしています。この活動は、本校のよき伝統・文化となっています。6年生自身、「1年生にどんなことをしたらよいか」「どのように関わったらよいか」を相談し合いながら、1年生一人一人に優しく、ていねいに接している様子は、とても温かく、思いやりの気持ちが伝わってきていい雰囲気です。



ゲームをして楽しませる
6年生。

6年生にとって、人との関わり方や相手のことを考えて行動することの大切さなど、色々なことに気づき、学ぶ機会であり、最

高学年としての責任と自覚が一層高まってきています。

子ども同士が関わり合い、つながり合っていく温かな関係・雰囲気は、清水小学校の自慢できることの一つです。

御影小学校

5・6年生 あとかたづけ ありがとう！！



4月11日（月）の1校時目、高学年の子ども達が入学式の後片付けをしてくれました。先生方の指示をしっかりと聞き、全員が後片付けをしていました。しっかりと働く子ども達には感心させられました。床のテープ剥がしを手伝っていたら「ありがとう」と子どもに言われとてもうれしい気持ちになりました。頼もしい高学年！これからの活動にも期待できます！

1年生を迎える会

4月28日（木）に1年生を迎える会を開きました。8班に分かれての縦割り活動！上級生がしっかりとリーダーシップを取る姿はいいものですね。自己紹介では、なかなか言えない1年生。お兄さん、お姉さんが上手にサポートしていました。ゲームは、縦割り班ごとの「爆弾ゲーム」と全校での「しっぽとり」。爆弾ゲームをしている頃には、1年生の緊張もほぐれ、笑顔で活動していました。しっぽとりゲームでは、夢中になって走り回る子ども達、安全に配慮して見守る先生方の姿が印象的でした。体育館中にこだまする子ども達の声は心地よいものでした。



交通安全青空教室



4月26日（火）に実施した交通安全青空教室。1年生は歩行訓練。一緒に歩いていると、担任の先生の指示をしっかりと聞いて歩いていました。子どもの一人が「つくしだ〜」と言うとみんなが集まりだし、春探しをしている気分になる一コマもありました。2年生以上は、自転車技能訓練。交差点では、安全確認をしてきちんと乗っていましたが、まだ不安な児童もいるようです。職員室での会話で「去年に比べたら上手になったよね。」と子どもの良くなった点を認める言葉

があり嬉しい気持ちになりました。子ども達には、これからも安全運転に心がけてほしいです。

御影小学校100歳おめでとう



5月1日で御影小学校は100歳を迎えました。11月26日(土)の100周年記念式典にむけて協賛会の方々の動きが活発になっています。校舎には懸垂幕が設置され、100周年を実感しつつ、地域の皆様と協力していきたいと思えます。

(教頭 川崎 広輝)

清水中学校

清水中学校生徒会版

“しみず「教育の四季」”の取組

しみず「教育の四季」、春のスローガンは「さわやかな風の中で 元気に力強く」です。清水中学校では生徒会を中心に「おはよう」、「こんにちは」の挨拶、そして地域のため、みんなのためにとすることでボランティア活動に力をいれています。

<クリーン作戦>

5月6日(金)、清水町の清掃週間に合わせて、生徒会書記局と保健美化委員会の企画運営により市街地のゴミ拾いを行いました。

また、地域の人に出会っては笑顔で挨拶をかわしました。



<緑の羽根募金>

5月9日(月)から緑の羽根募金活動を行っています。

生徒会書記局のメンバーは、生徒玄関で登校してくる生徒に元気な挨拶、そして、森林保全や緑化整備のためにと募金を呼びかけています。

尚、今回集まった募金は、熊本・大分両県の震災地域の復興のためにも活用されます。



(教頭 伊澤 理紀)

今年も「NICE TRY」

5月6日（金）14：40～15：30、生徒会の呼びかけによるボランティア清掃が行われました。「有志を募る」とのことでしたが、しっかり全校生徒が参加しました。

開会式で、生徒会役員から活動内容について説明を聞いた後、4グループに分かれて学校を出発。アリーナまで往復するグループ、郵便局まで往復するグループ、農協スタンドまで往復するグループ、元農業機械研修センターまでを往復するグループが、それぞれ火ばさみやゴミ袋を手に出発しました。



子どもたちは、躊躇なくさまざまなゴミを拾い集めました。道路沿いのたばこの吸い殻、つぶれて草に埋もれている空き缶、土手の下に転がり落ちたペットボトルなどを次々と集めてきます。中には、壊れた発泡スチロールの箱や、ベニヤ板、農業用資材などを拾った生徒もいて、30分ほどでゴミ袋からあふれるほどになったグループもありました。

家庭菜園をしている地域の方からも声をかけていただきました。「おじさんも、普段結構拾ってるんだけどね、風も強いから、やっぱりたくさんあるね」などと、子どもたちの拾ったゴミを見て驚いた様子でした。地域の方と交流しながら、普段お世話になっている地域のためにボランティア活動ができて子どもたちも充実感いっぱいでした。

戻ってきてからは、カンやビン、燃えるもの、燃えないものに分別し、閉会式をして締めくくりました。

た。

今年も、御影中学校の合言葉は「NICE TRY」です。さらに生徒会のテーマは「凡時徹底」。ボランティア清掃だけでなく、今後さまざまな活動を通して、子どもたちの積極性が磨かれ、あたり前のことがあたり前にできるようになり、思いやりの心が育つよう、支えていきたいと思います。



（教頭 宗形 真恵）

ボランティア部の活躍

校長 西 嶋 潤 一

新学期が始まって、新入生も順調に学校に慣れ、放課後は元気な部活動の音が校舎内に響いています。連休が終わって、5月13日（金）から野球の春季大会、5月26日（木）からは高体連の集約大会が始まり、3年次生は部活動の総仕上げの時期となります。春は、冬の間貯めていたエネルギーを爆発させる時期です。

4月14日（木）、16日（土）と震度7の地震が熊本県襲いました。震度7！というのはあまり聞いたことがない大きな揺れで、大変なことが起きている、という感覚で週末を過ごしました。その後も熊本、大分の両県で余震が続き、震度1以上が3週間で1千2百回を超えました。一日平均50回以上、30分に1回は有感地震というとんでもない頻度です。地震が直接の原因でお亡くなりになった方が49名、今も行方がわからない方が1名います。

私たちは5年前に東北地方を襲った大地震と津波を経験しました。あまりにも大変な被害で、原発事故の関連も含め、今も沢山の方々が仮設住宅での生活や避難生活を送っておられます。「何ができるか」、東北の震災後、常に意識しています。今回の地震は家の倒壊が一番の特徴で、避難生活が長引きそうな気配があります。学校も被災し、連休明けからようやく授業のところも多く、何より揺れが収まっていません。

4月18日、月曜日の朝に先生方をお願いしたのは、今、起きていることを先生方の言葉で生徒に伝えて欲しいということです。スマホ等、いろいろな情報入手手段はありますが、自分の興味の無い分野のことは全く情報として入って来ないこともあります。生徒達の生活に我々の年代の、朝のニュースが時計代わり、という習慣はありません。今、起きたことに少しでも興味を持ち、困っている人がいることに想像力を働かせて欲しい、そんなことを考えていました。

その週末までにボランティア部から声が上がリ、義援金を集めることとしました。生徒達からの発想です。清水には日本赤十字社の病院があり、そこに義援金を届けば、振込手数料等が無く、被害にあった方々に直接義援金が届く、そういう助言は我々の役割です。ボランティア部は普段は駅舎の清掃をしたり、町内の各施設に出かけたり、募金等に取り組んでいます。

4月25日（月）からの週、昼休みを中心にボランティア部員が各教室をまわり、教職員からの義援金を合わせて28日（木）に赤十字病院に届けることが出来ました。

自分が持つ少しの余裕の時間や力を困っている人のために使う、ボランティアの基本的精神ですが、普段から周囲を見渡せる余裕があって初めて可能なことだと思います。清水高校の生徒達みんなが、そんな力を身に付けて欲しいと考えています。



日本赤十字社の義援金は、被災された自治体に送られ、被災された方に現金で配布されま

す。避難所での物資や仮設住宅設営等では行政の出番が大きいかと思いますが、直接いただける現金は貴重、というのは奥尻島の津波で被災した元の同僚の話です。今回、清水の病院から看護師さん2名が熊本に派遣され、日赤本体からは1回目、1世帯20万円ずつの義援金が配られたそうです。

あらためて、赤十字精神が身近にあることの意義を感じ深く感謝を申し上げます。

今回の震災被害に対して、6月30日（木）まで、清水赤十字病院で義援金を受け付けています。

清水幼稚園

園長 福原幸江

なかよしタイム…異年齢活動

幼稚園では同年齢の保育が基本ですが、異年齢の友達とかわかることで、思いやりや憧れの気持ちを育んだり、様々な活動や遊びを通して、友達関係を深めたり生活体験を広げることがをねらいとして、月2～3回の異年齢活動を教育課程に取り入れています。

本園の研究主題『心かよわせ、互いに響きあう感性豊かな子どもの育成』～たくましい心と体をはぐくみながら～をめざし、異年齢活動にも『運動あそび』を取り入れて本年も取り組みます。



集団ゲーム：ドーナツ



集団ゲーム：しっぽとり



4～7月主な活動

- ・リズムあそび
- ・集団ゲーム
- ・戸外遊び
- ・運動あそび
- ・散歩

「こどもの日」お楽しみ会・鯉のぼりをくぐったよ

「こどもの日」のお楽しみ会を5月2日（月）に行いました。

「こどもの日」の由来を知り、興味や関心をもたせることや、ゲームを通して友達と一緒に楽しむことを大切にしました。たんぼぼ組もはじめて「リズムあそび」やゲームに参加しました。年長や年中のお兄さん・

お姉さんから大きな声援をもらい一生懸命取り組む姿が微笑ましかったです。

職員の出し物エプロンシアター「どろんこねこちゃん」を全員でしっかり観てくれました。これからのいろいろな活動に、楽しみながら取り組んでいけるとと思います。



保育所楽しいな！

新年度がスタートして1か月が過ぎました。少しずつ新しい生活のリズムをつかみ、緊張や不安もほぐれてきた子ども達です。

ひまわり組（5歳児）は、4月13日（水）に行った「にこにこ対面式」でひまわりバッジをもらい、29名全員がとても素敵な笑顔。お兄さん、お姉さんとしての意識も芽生え、やる気満々です。雪が融けたグラウンドの石拾いをしてくれたり、小さいお友達のお世話をしてくれたり、頼もしい姿が見られます。運動会に向けての取組にも力が入っています。ちゅうりっぷ組（4歳児）、たんぼぼ組（3歳児）は、一つ大きくなったことに喜びを感じながら、戸外で活発に身体を動かしたり、色々な活動を楽しんだりする姿が見られます。「ひまわり組さんのようになりたい！」という憧れを持ち、友達同士で助け合いながら、毎日、元気一杯に過ごしています。



さくらんぼ組（2歳児）、いちご組（1歳児）、もも組（0歳児）は、大好きなお父さんお母さんから離れ、泣いていましたが、少しずつ保育所生活にも慣れ、寂しくて涙を流す時間も短くなって来ました。先生や友達と散歩を楽しんだり、一緒に給食を食べたり、お昼寝をしたり…。周りからの刺激を受けながら、興味もぐんぐん広がって来ています。これからの成長がとても楽しみな第一保育所の子ども達です。

（保育士 林 田 寿美恵）

春のお散歩♪

すっかり暖かくなり、草花が顔を出し始めると、各クラスそれぞれのカラー帽子を被り、お散歩に行く姿が多く見られる様になりました。

ちゅうりっぷ組（4歳児）は、「春さがし」「公園さがし」という名のお散歩が楽しみの1つとなっています。福寿草を見つけては、「春だー！」、ふきのとうを見つけては、「春だー！」と、とても微笑ましいです♪

道中に会おうワンちゃんには、「名前はなんて言うの？」、畑作業をしているおじいさんには、「何を作っているんですか？」、目の前を横切る貨物列車には、「バイバーイ！！」と、いつまでも手を振り続け…子ども達は色々な事に興味津々の様子です。

これからもお散歩を通して、四季の移り変わりを感じ、新たな発見を楽しんで欲しいですね。



（保育士 岡 那 奈）

新しいクラスでも、よろしくね！！

4月、新しいお友達や先生を迎えて86名でスタートした第二保育所です。

一つ大きくなったことに喜び、張り切って登所するお友達や、お母さん達から離れることに寂しくて「え〜ん！」と泣くお友達もいましたが、10日（日）に行われた対面式では、クラスごとにみんなの前に出て、歌や手遊び、体操などを元気に発表したり、新しい友達を紹介したりして楽しく過ごすことができました。この日のために年長児のぞう組さんは、小さいお友達のために「仲よく遊ぼうね！！」と手作りペンダントをプレゼントしました。優しいお兄さん、お姉さんの気持ちが育ってきているぞう組さんには、所長先生からきらきらの手作りペンダントがプレゼントされ、更に年長児になったという気持ちが強まっていました。

これから一年、かわいい子ども達とたくさんの楽しい思い出をみんなで作っていきます！！



（保育士 金山 明美）

母の日のプレゼントを作りました♡

5月8日（日）の母の日に向けて、お母さんへのプレゼント作りをしました。製作の前に「みんなのお母さんはどんな人？」「お母さんの好きなところは？」という質問を年長組さんにしてみました。すると「やさしい♡」「かわいい♡」「お洗濯してくれる。」「ご飯作ってくれる。」「遊んでくれる。」「こわい。」「おこってくれる。」などなどたくさん出ていました。「みんなお母さんのこと好き？」と聞くと、「すき！」「だいすき！」と嬉しそうに答えてくれた子ども達です。

3歳以上児は小物入れを作りました。お母さんの似顔絵を描き、周りにはかわいい飾りつけをし、心を込めて仕上げました。いつもみんなのことを大切にしてくれているお母さんに感謝の気持ちを伝えてね、とお話しています。

出来上がった小物入れを早くお母さんにプレゼントしたい子ども達。家に帰るまで待ちきれず、お母さんがお迎えに来た途端に「お母さんありがとう！」と渡しているほほえましい光景もありました。

（保育士 尾田 美寿江）

4月から新一年生！

3月で修了し、巣立っていった年長児達が4月8日（金）の入学式を終え、真新しいランドセルを背負い、新一年生として保育所に顔を見せに来てくれました。

修了してから10日ほどしかたっていませんが、一年生になった自信と希望に満ちた顔を見せていました。保育所と小学校は隣同士なので、今後1年生達が成長していく姿をときおり見たいと思います。

ひとつ大きいクラスになりました！

4月からひとつ大きくなって新しいクラスになりました。

新しい年長組さんは、保育所のグラウンドの石や木拾いをすすんでしてくれています。1年前に比べて小さいお友達や困っているお友達の面倒をスムーズに見てくれるようになりました。

年中組も1年前と違い、身の回りのことがしっかり出来るようになり、困っているお友達にやさしく接したり、お友達との遊びが広がったりと、いろいろ成長が見られています。

年少組も1年前と違い自分でいろいろな身の回りのことが出来るようになり、排泄も紙パンツからパンツになりました。

まだスムーズに出来ないこともあります。これからの成長がとても楽しみです。

歯が抜けたよ

年長児で何人か歯が動いてきたり、抜けたりするようになりました。保育所で最初の一本目が抜ける瞬間は、何が起こったのかわからなく、抜けた後も口の中が少し不思議な感覚なようで気にしていました。2本目以降はもう慣れてきているようで、抜けたところをみんなに見せて、大人の歯が生えてくるのを楽しみにしているようです。

初めての保育所生活！

4月から新入園児9名が新しいお友達になりました。最初はお母さんお父さんと別れるときにはすごく泣いていたのに、今は笑顔で別れたり、少しだけ泣いたりするだけになりました。

お友達と遊んだり、自分のお気に入りの遊びやおもちゃを見つけたり、担任の先生以外にも話しかけたり、抱っこを求めてくるようになってきました。このまま保育所生活に慣れて、楽しいことをたくさん体験してほしいと思います。

（保育士 大石 正人）

しみずソーシャルメディアガイドラインの制定

スマートフォン等の急速な普及に伴い、子どもへの影響が危惧されています。清水町においても、

- ① 子ども達のスマホの所持率が随分と高くなっていること
- ② ライン等でトラブルになったことやいじめ等につながる危険性があること
- ③ 勉強時間が少なくなったり寝る時刻が遅くなったりしていること
- ④ 保護者と子どもとのルールづくりが十分でないこと
- ⑤ フィルタリングの設定に関する認識が低いこと

等が町教育研究所の「携帯・インターネット利用に関する実態調査」アンケート結果等から明らかになりました。

そこで、“しみず「教育の四季」推進協議会”では、子どもたちがソーシャルメディアを適切に利用し、より豊かな生活と健全な成長につながるように「しみずソーシャルメディアガイドライン」を制定しました。

各家庭におかれましては、「しみずソーシャルメディアガイドライン」制定の趣旨をご理解いただき、家庭のスマホ等使用のルールづくりやフィルタリングの設定等に努めていただきたいと思います。

地域の皆様におかれましては、健やかな子どもの成長を育む上で、「しみずソーシャルメディアガイドライン」を周知いただくとともに皆様方のご理解とご支援をよろしく申し上げます。

*ソーシャルメディアとは

ライン(LINE)、ツイッター、フェイスブック、ブログ、電子掲示板やホームページほか、ネットを利用して誰でも手軽に情報発信や相互のやりとりができる双方向メディアをいう

しみずソーシャルメディアガイドライン

I 目的

スマートフォン等ソーシャルメディアの急速な普及に伴い、高い利便性が得られる一方で、長時間の利用による生活習慣の乱れや、いじめやプライバシーの侵害など子どもたちにとって好ましくない事例も見られるようになりました。

そこで、児童生徒がスマートフォン等ソーシャルメディアを適切に利用して、より豊かな生活と健全な成長につながるようガイドラインを定めました。

Ⅱ 実施事項

1 児童生徒

- ①学校がある日のスマートフォン等は、遅くても小学生は、午後9時以降、中学生は、午後10時以降は、特に必要のない限り利用しない。(LINE等のやりとりをしない)
終了時刻になったら、スマートフォン等は部屋に持ち込まない。
休みの日については、長時間利用することのないよう一日の利用時間を決める。
- ②学校への持ち込みについては、学校のきまりに従う。
 - ・小中生は、原則持ち込みを禁止。
 - ・高校生は、授業中は電源を切る。
- ③安全に利用するためにフィルタリングを設定する。
- ④公共の場で利用する時は、ルールやマナーを守る。
 - ・マナーモード指示を守る。
 - ・「歩きスマホ」や「音楽を聴きながらの自転車走行」はしない。
- ⑤自分はもちろん、友人・知人の個人情報に関する書き込みをしない。
- ⑥他人の悪口などの投稿をしない。
- ⑦トラブルに巻き込まれたり、巻き込まれそうになったりしたときは、必ず親や先生に相談する。

このガイドラインは、一人だけが守ってもみんなの安全は保てません。また、たった一人の「故意」や「うっかり」が、みんなの危険を招くこともあります。清水町のみんながこの内容に書かれていることをしっかり守り、適切な利用に心がけましょう。

2 家庭

- ①フィルタリングを設定する。
 - ・スマートフォン購入時に必ずフィルタリングを設定し、解除させない。
- ②家庭におけるスマートフォン等の利用に関するルールを定める。
 - ・子どもとよく話し合い、守れるルールをつくる。
 - ・学校がある日のスマートフォン等は、遅くても小学生は、午後9時以降、中学生は、午後10時以降は、特に必要のない限り利用しない。(LINE等のやりとりをしない)
ただし、各家庭で終了時刻をこれより早くすることはいっこうにかまわない。
 - ・終了時刻になったら、スマートフォンなどは部屋に持ち込まない。
 - ・休みの日については、長時間利用することのないよう一日の利用時間を決める。
- ③子どもの利用状況を把握する。
 - ・利用時間や閲覧サイト、利用アプリなどを把握する。
- ④学校には持たせない。特別な場合は学校と相談する。(小中学校)

保護者の方には、「ソーシャルメディアガイドライン」をもとに、フィルタリングの徹底や子どもと話し合いをもち、家庭でのルールづくりをすることを推奨します。

- ①児童・生徒を対象にした啓発活動を実施する。
 - ・スマートフォンやSNSなどについて適切な利用についての研修会などを開催する。
- ②児童・生徒による主体的な取組を推奨する。
 - ・児童会や生徒会で話し合うなど、自分のこととして捉えられるようにする。
- ③保護者への啓発活動を推進する。
 - ・PTAと連携し、保護者対象の研修会などを開催する。
 - ・学校だよりなどに啓発記事を掲載する。

Ⅲ 留意点

- 1 ネット社会を安全に生きていくためには、そのための知識やスキルが大切であり、利用のルールのみを定めるのではなく、ソーシャルメディアの利用に関する学習をすることが重要です。
- 2 家庭での利用のルールについて、子どもと話し合い、決めたルールを守ることが重要です。
- 3 スマートフォンだけでなく、ゲーム機や音楽プレーヤーなどネット接続可能な電子機器も含めてルールづくりをすることが重要です。
- 4 大人が、メディアが子どもたちの発達にどんな影響を及ぼすか関心を持ち、それを継続的に大人が伝えることが重要です。
- 5 トラブルがあった場合に大人に話せる関係づくりをするとともに、子どもたちが主体的にトラブルにあわないようにしようとする取組を作ることが重要です。

*参考・引用～安心ネットづくり促進協議会より

しみず「教育の四季」推進協議会



しみず教育の四季

家庭・学校・地域が連携して町民総ぐるみで「12の窓」から
感性あふれ、表情豊かな子を育てる

春～さわやかな風の中で 元気に力強く

家庭・地域
今月の取組

かけよう かわそう
みんな元気に
笑顔で挨拶